

行事のご案内

十月十二日 午前十時
三日講「歎異抄を読む」

十月十九日 午前十時三十分
報恩講前 仏具磨き

十月二十三日 午前十時
報恩講（御参修）

十一月十三日 午前十時
三日講「歎異抄を読む」

十一月二十三日 午前九時
御正忌報恩講
合同参拝

十二月十三日 午前十時
三日講「歎異抄を読む」

十二月二十三日 午後一時
お煤払い

十二月三十一日 午後三時
歳暮勤行

一月一日 午前九時
修正会

報恩講前
仏具磨き

本堂の仏具磨きを行います。
年に一度の大切な御仏事に向け、皆様のご参加・ご協力をお待ちしております。



日時
10月19日（日）
10時30分～

場所
岡崎別院本堂

十一月二十一日～二十八日
本山にお参りしましょう

今年も、十一月二十一日～二十八日にかけて、本山（東本願寺）にて「御正忌報恩講」が勤まります。

左記の如く参拝の予定をしています。
大切な御仏事として、お参りください。

岡崎別院 ご門徒・三日講・納骨堂護持会

合同参拝

日時
十一月二十三日 午前九時
集合場所
東本願寺 御影堂門下

第65号
令和7年
(2025年)
10・11・12月号

発行
岡崎別院
輪番事務取扱 近藤悠

二〇二五年十月二十三日

報恩講 執行

鍵役御参修

当院報恩講の季節がやってまいりました。本年も例年の如く、本山より御鍵役をお迎えし、報恩講を執行します。宗祖の御命日を縁として勤まる「報恩講」は、真宗門徒にとって一年で最も大切な御仏事として今日まで伝えられてきました。

当院においても年中最大の御仏事として、十月二十三日（木）午前十時より勤まります。

当日は用務ご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上何卒ご参拝いただきますようお願い申し上げます。

御寺院方・ご門徒その他有縁の皆様には、ご案内を同封しておりますのでご確認の上ご返信くださいますようお願い申し上げます。

御法話

生死出づべき道

— 仏教の課題 —

講師 竹橋 太師

（真宗本廟 式務所）



報恩講お斎のご案内

当院の報恩講では、完全事前申込制によるお斎（お弁当）の配布を行っております。

法要後には、施設内及び庭園に飲食スペースを設けております。

お斎をご希望の方は事前にお伝えください。

また、お斎をご希望の方には、できる限り報恩講志として御志納をいただきますようご協力お願いいたします。



△年に一度、報恩講の日に限り、親鸞聖人の御生涯が描かれた御絵伝が左余間に掛かります。

▷勤行の最後には、「御俗姓」の拝読が行われます。

どなたでも

お参りください



お煤払い

日時
12月23日（火）
午後1時集合

場所
岡崎別院本堂

年末の本堂の大掃除を行います。皆様のご参加・ご協力をお待ちしております。

また同日掃除後に、「岡崎別院忘年会」を行います。是非ご参加ください。

法名をいただきますませんか？

「法名」をいただくということは、仏弟子となりお念仏の道を歩まれる、その出発といえます。

本山では毎日帰敬式が行われます。

また当院においても、毎月帰敬式を受け付けております。

まずは、ご相談ください。

結婚式

岡崎別院では、仏前にて結婚式を挙式することが出来ます。

是非一度ご見学ください。

予約状況

◇十月五日

◇十一月五日



宗宝宗史蹟
親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派（東本願寺）

岡崎別院

〒606-8335
京都市左京区岡崎天王町二六

TEL 075-771-2921

Fax 075-748-1665

Mail info@okazakibetsuin.com

輪番交代のご報告

当院輪番（代表役員）の交代がありました。有縁の方には既にお知らせさせていただいておりませんが、紙面にて改めてご報告させていただきます。

福田大輪番 ご退任

前任の福田大氏は、二〇〇八年の十月に岡崎別院輪番に着任されました。

着任以降、十六年以上をかけて、宗祖の御旧跡地である当院の再興に御尽力され、建立以降初めての「総合整備事業」を遂行され、四月には新門様をお迎えし盛大に落慶法要が厳修されました。

七月からは、北海道教区にありまます旭川別院の御輪番に着任されました。



＜福田輪番の奥様にも、別院の行事等において大変お力添えをいただきました。＞



＜山城第1組・山城第2組御寺院方から福田輪番に記念品が手渡されました。＞



着任のご挨拶

平素は岡崎別院の護持運営にご協力を頂き、まことにありがとうございます。
2025年7月1日より、岡崎別院輪番事務取扱を拝命いたしました。

私は2016年3月に岡崎別院列座として、また同年4月下旬より会計を兼務し、それから9年間、この地でお世話になっておりました。

2025年4月26日の総合整備事業落慶法要にも携わるご縁を賜り、その後、6月30日をもって退任された前任の福田大輪番より仕事を受け継ぐこととなりました。すでにお見知りおきの方も多いかと思いますが引き続き、よろしくお願いいたします。

さて、今年度暁天講座には三日間で300名の方にご参詣頂きました。早朝より御法話頂いた御講師の先生方、並びに御参詣頂いた皆様に改めてお礼申し上げます。

今号発行日になりますと当院報恩講を間近に控えている時期になります。

真宗門徒にとって一番大切な法要とも言われております。

着任してより、暁天講座、孟蘭盆会法要、彼岸会法要と続いておりました。

その都度「今年は何名ほど参詣されるだろうか」ということだけを気にしております。「一宗の繁昌と申すは、人の多くあつまり、威の大きな事にてはなく候う。一人なりとも、人の、信を取るが、一宗の繁昌に候う。」（蓮如上人『御一代記聞書』）

とは言うものの、「席は足りているだろうか」「参詣者さんにお渡しするものの数は十分だろうか」ということに振り回され、「滞りなく法要が進行する」ことのみ大事にしているなあと感じながら最後は「滞りなく始まり、トラブル無く終われば誰も文句言わないから」と己に言い聞かせてしまっています。

参詣頂いた皆さんから「沢山来てくれましたね」と声をかけられ、帰り際に皆さんに「ありがとうございます」と言ってもらい、そのことを「ありがたいお声をかけていただいた」と思いつつ「きちんとできたな」と誇らしげになり、そしてどこかで「自分は出来る」という思いを抱えそれを強くしております。

出来なくてはいけない、更には「出来る自分」でいなくてはいけない、「出来る自分」だからよい。「本当は何をしなくてはいけないのか」を見失い、何でもよいから「出来る」と見られることを大事にしてしまっています。

『内は愚にして外は賢なり。』親鸞聖人
外の賢ばかり気にして、内の愚を無視し、隠している己を見透かされている言葉なのかなと思ひながら「わかつちやいるけどやめられない」日々を重ねております。

法要厳修のご報告

ぎょうてん こうぎ

暁天講座

七月二十五日、二十七日の三日間をかけて、当院の暁天講座が開催されました。

三日間で延べ約三百人以上の方が聴聞されました。藤井慈等師、一楽真師、高橋法信師のお三方による御法話には、滋賀県や大阪府からの参拝者もおられ、宗派や地域を超えて多くの方々が来られました。

終了後には、コーヒーと隣接するホテルオークラ京都岡崎別邸提供によるパンが参加者に配布されました。

八月十三日に当院本堂にて孟蘭盆会（お盆の法要）が勤まり、約二十名の方がお参りされました。勤行の後には、大阪教区獅子吼の会の上本和樹師より「京都で聞く真宗」を講題に御法話をいただきました。

期間中には、納骨堂にも多くの方がお孫さんや親戚の方を連れてお参りされました。

お能体験 ワークショップ

八月二十四日（日）に、岡崎別院主催の子ども会の一環として、お能ワークショップ「楽しい 能の世界」が開催されました。
約30名程が参加され、夏の思い出作りとして、年齢を問わず多くの方が参加されました。



堂内にモニターを設置しました

本堂内に、参拝者へのご案内のためのモニターを設置しました。

お参りの際には、是非合わせてご覧ください。

もえあがれ 法蔵魂

当院本堂を会場に、名古屋教区より「欲聞会」主催による聞法会「欲聞会」が開催されました。法蔵菩薩をテーマに、那須信考師、宮下晴輝師、貝沼宜徳師の三方が御法話されました。



うら ほんえ 孟蘭盆会（お盆）

＜期間中は、本堂に切子灯籠がお飾りされます。＞

